

2018年8月20日 岡山かなりや学園 ミルンスタジオを見学

OHKでは、「手話が語る福祉」というテーマで聴覚に障害のある方々について25年にわたって取材を行っています。この日は、今年6月に篠田吉央アナウンサーがこの企画の取材した、児童発達支援センター岡山かなりや学園の5歳児のクラスの子どもたち、先生、ご家族の皆様20人に、OHK まちなかスタジオミルン+を見学して頂きました。ミルン+では、ニュースがどのようにして作られているのかがわかるVTRや、実際に記者が映像の編集に使っている編集機、『なんしょん?』のリハーサル風景などを見て頂きました。また、見学の最後には篠田アナウンサーから、「相手に何かを伝えるときは、大きな声で伝えることも大切だけれど、一番大事なことは自分の気持ちを込めて一生懸命に伝えること」と子どもたちへアドバイスがありました。今日来てくれたクラスの皆さんは来年から小学校に進学されますが、一生懸命に自分の気持ちを相手に伝えて、小学校でも沢山の新しいお友達を作っていって下さい。

